

石巻市立鹿妻小学校 MLA便り 11月号

かづまる通信

不登校支援の「はひふへほ」

- ① 話合いが基本です
- ② 必要なのは助言ではなく理解
- ③ 不登校は前向きに捉えて支援
- ④ 変化を見逃しません
- ⑤ 本人の気持ちを大切に

【「子供の最善の利益」とは】

寒さが増し、晩秋から初冬に差し掛かる時期になりました。「子供は風の子」と言いますが、寒さに負けず、校庭を駆け抜ける姿が見られます。

さて、本題の「子供の最善の利益」とは、子供たちの権利に関する条約が国際連合で採択された際の基本原則となった考え方です。具体的には「全ての子供は、大人たちから保護され、世話を受け、関心が向けられ、愛され、信頼のもとで見守られる」というものであり、裁判所もこれを原則とします。しかし、「原則だから子供を守る」という保護者の方はいないと思います。初めてお子さんと出会った感動を大切に、その笑顔を守るため、無償の愛情を注ぎ続けてここまで育ててきてくださったのだと思います。その大切なお子さんの健全な成長のため、学校も家庭と歩調を合わせ、全力で指導に当たっていきたくと考えています。

【11月のSC来校日】

4日(水) 10日(火) 18日(水) 24日(火)



親子の小窓



第7回テーマは「リフレーミング」です。「リフレーミング」とは物事の見方の枠組みを変えることであり、短所に見えることを相手のよさとしてとらえ直すこととして用いられます。例えば、「気が小さい」は「慎重に判断できる」とリフレーミングすることができます。お子さんが自信を深めたり、自分の気持ちが楽になったりするものの見方をしたいものです。

実践！リフレーミングを生かした声掛け

☆よく口に出してしまう言葉です。答えは1つではありません。どんな言い方があるか考えてみましょう。（解答例は下部に反転して掲載）



	親の言葉	リフレーミングを生かした声掛けをすると
1	落ち着きがないからだめ。	
2	どうしてさっさとできないの！	
3	（間違えた時に）違うでしょ！	
4	こんな簡単な問題もできないの？	
5	お兄ちゃん（お姉ちゃん）はできたよ。	

- 〈例〉
- 1 活発で、活動的だね。落ち着いてやればさらに期待できそうだね。
 - 2 ゆっくり丁寧にやりたいんだね。最後まで頑張ってみよう！
 - 3 こんな風に考えていたんだね。他にどんな解き方があるか、一緒に考えてみようか。
 - 4 あわてて解いちゃった？どうしたの？
 - 5 なるほど！あなたはこう考えるんだね。自分のペースでやってみようね。

心も体も元気な子供を育成するために家族みんなで **はやね・はやおき・あさごはん** を実践しよう!!